

明峰小地区福祉委員会 第4次地区福祉計画

地区の特徴

「風光明媚な丘陵地の高台にある**明るい峰**」……が明峰地区の名前の由来です。昭和40年代からこの丘陵地帯に開発された戸建て中心の大規模団地の集積で、概ね開発の時期によって8つの自治会に分かれています。地区内には小学校、中学校、高校があり、近隣には宝塚医療大学があります。又明峰公民館と7カ所に自治会館があることが大きな強みです。高齢化は進んでいますが、川西能勢口に近いことと比較的交通の便が良いことから若者の転入もあり、年代別人口バランスのとれた地域です。

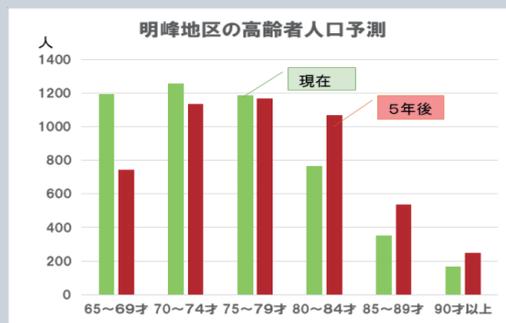
明峰小地区の人口・世帯数

平成29年3月末

- ・ 人口 ※15, 147人
- ・ 世帯数 6, 161世帯
- ・ 65歳以上 4, 941人(率33%)
- ・ 75歳以上 2, 470人(率16%)
- ・ 15歳未満 ※2, 094人

※いずれも川西市地区別では一番多い

5年後は75歳～79歳がピークに！
—5人に1人は75歳以上の高齢者—



福祉環境予測

- ① **75歳以上の人口が増加** (2,470人 → 5年後 3,000人以上)
その結果 1) **おひとり暮らし高齢者の増加** (現在400人 → 5年後500人以上)
2) **認知症の増加** (現在認知症認定者650人 → 800人以上)
3) **運転免許証返納者増加**
- ② **大災害は必ずいつかは来る**
- ③ **地域活動の担い手が少なくなる**
(ボランティアの高齢化、専業主婦の減少、生涯現役化などによる)
- ④ **自治会会員減少傾向が続く**
- ⑤ **民生委員・児童委員の定員確保が難しくなる**
- ⑥ **悪徳業者がはびこる** (オレオレ、振り込め、水回り・屋根修理など)

福祉目標

「**住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくり**」

重点事業

- 重点1 安心サポート活動による「今どき 向う3軒両隣」を目指そう
- 重点2 サロン“たんぼぼ”を楽しい居場所に育てよう
- 重点3 “75歳以上高齢者の集い”を楽しいビッグイベントにしよう
- 重点4 活動を支えていただける人材を発掘しよう

地区別ワークショップでの意見

- ◇高齢者が活躍できる場づくり、居場所づくり
- ◇ボランティア活動・地域活動の担い手確保
- ◇地域のつながりづくり
- ◇認知症対策の推進
- ◇地域人材の情報収集
- ◇地域の相談窓口の充実
- ◇高齢者の移動支援・買い物支援の検討
- ◇学校・PTA・地域の連携体制強化

第3次地区福祉計画からの課題
(25年度～29年度)

- ◇“安心サポート”の新展開と定着
- ◇高齢者を対象としたイベントの在り方
- ◇居場所サロン“たんぼぼ”の充実
- ◇相談窓口の在り方
- ◇有償ボランティア、認知症カフェ、障がい者支援、移送についての検討
- ◇コミュニティ推進協議会との話し合い

現在の地区の取り組み

安心サポート活動

ひとり暮らし高齢者のつどい

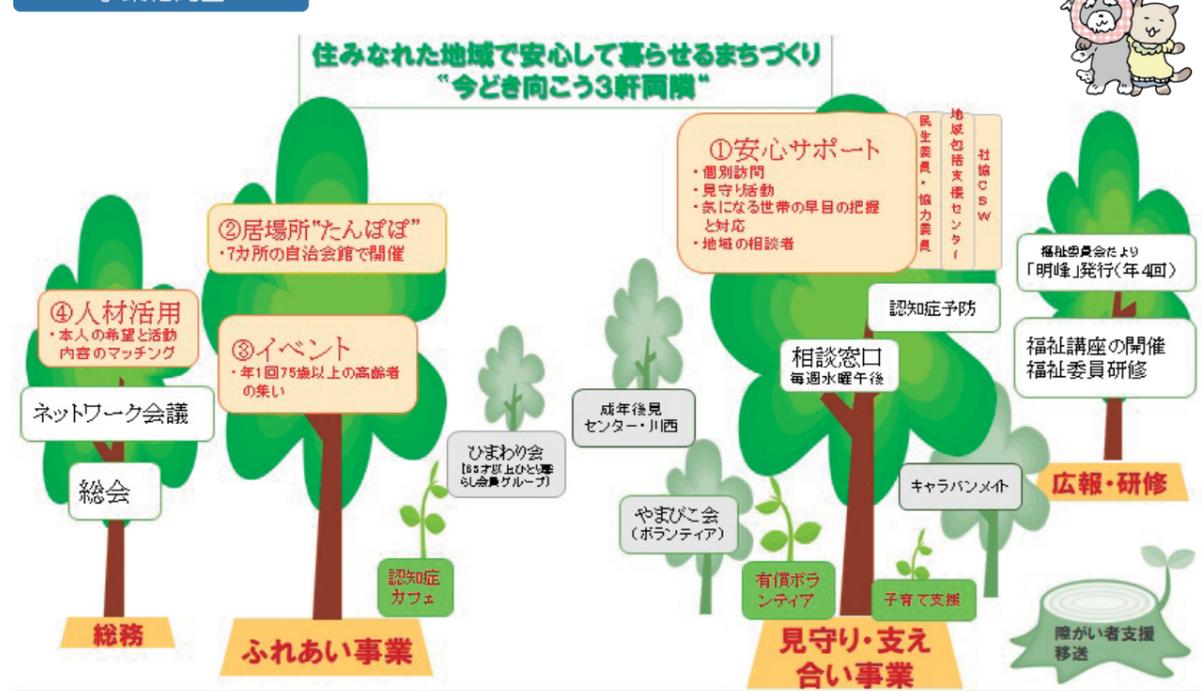
サロン“たんぼぼ”

相談窓口

福祉委員研修会

ネットワーク会議

事業相関図



重点
1

安心サポート活動による「今どき、向う三軒両隣」を目指そう



目的

“住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくり”として、住んでいる人の顔が見え、助け合いのできる「今どき、向う3軒両隣」を目指す

具体的取り組み

- 🏠戸別訪問
 - ・年1～2回、お役立ち情報のお届けと相談・要望への対応
 - ※次回訪問予定は「災害時避難行動要支援者」登録更新のお知らせ(民生委員さんの補完関係)
- 🏠見守り活動
 - ・災害時避難行動要支援者のうち見守り依頼者に対する平時の見守り(民生委員さんの補完関係)
- 🏠気になる世帯の早目の把握と対応(ほっとかない! あきらめない!)
- 🏠地域の相談員
 - ・明峰地域包括支援センター、社協との組織的連携を強める

- ・日常での異変の気づき
- ・認知症の懸念
- ・閉じこもり
- ・介護疲れ

重点
2

サロン“たんぼぼ”を楽しい居場所に育てよう

目的

地域の誰でもが参加でき、安心して楽しくいられる居場所となり、そこで仲間や友達を作りながら、情報交換などができる場所に育てる

具体的取り組み

- 各地域ごと(6カ所の自治会館と一井サロン)で開催
- ※内容
 - 喫茶、麻雀、トランプ、手作りの会、子育てなど(下記参照)
 - 今後も要望により新規内容を加える
 - PR活動を積極的に行う
- ※費用
 - 参加費として100円(各サロンにより少し異なる)

場 所	喫 茶	麻 雀	トランプ	手作りの会	子育て
萩原2・萩の里自治会館	第3月曜日 14:00～16:00				
鶯が丘自治会館	第3月曜日 13:30～15:30	第1土・第3月曜 13:00～16:00			
萩原台自治会館	毎週火曜日 14:00～16:00	第2・4月曜日 13:00～17:00			第4金曜日 10:00～11:30
鶯台自治会館	※ 第3火曜日 13:00～15:30	第2・4火曜日 13:00～15:00	※ 喫茶は年4回(1・5・7・9月)		
錦松台自治会館	第2・4土曜日 13:00～15:00				
南野坂自治会館	第3水曜日 10:00～12:00				
一井サロン(湯山台)	第2・4木曜日 10:00～12:00	毎週木曜日 13:30～17:00	第1・3木曜日 13:30～17:00	第1月曜日 13:00～16:30	

明峰小地区福祉委員会事業一覧表

事業名	区分 新規・重点	内 容 内容、回数、定期開催の場合は曜日	
安心サポート活動	重点	・戸別訪問・見守り活動・気になる世帯の把握と対・地域の相談員	2年後定着を目指す
サロンたんぽぽ	重点	・地区内の7か所で開催 喫茶・麻雀・手芸・トランプなど	別表
イベント「高齢者の集い」	重点	・75歳以上の高齢者との親睦交流会	30年度は10月に実施して様子を見る
人材活用	重点	・地区福祉委員、安心サポート協力員の方々がやりがいのある活動となるようにする ・若い世代や団塊の世代の人材発掘 ・人材育成講座などへの出席	1年～2年かけて
福祉ネットワーク会議	協議体の取 扱い検討	・従来の報告中心から協議事項中心に変更する 「協議体」の機能を高めることになれば開催頻度の検討を要する	2月・9月
相談窓口	一部検討	・困りごと相談として開催 ・福祉委員と地域包括支援センター職員が相談員として対応しているが、相談件数は少ない ・今後PRと定期的にテーマを決めるなどやり方の検討	毎週水曜日 13時～16時
福祉講座		・明峰公民館との共催	3回の連続講座
福祉委員会研修		・福祉委員の見識を高める為の研修会	年1回
広報紙「明峰」発行		・福祉委員会の活動報告と福祉活動の啓発 ・コミュニティのHPにも随時案内や報告を掲載 ・明峰地区全戸6000所帯に配布	年3～4回発行
子育て支援	一部検討	・コミュニティHPに掲載している子育て支援10か所の更新 ・“赤ちゃんころころ”（保健センターと共催）のPR ・子育て広場への資金支援を検討	年間10回
三世代交流事業		・各自自治会主催の餅つきなど三世代交流事業に資金支援	12月
認知症予防講座 （脳活クラブ）		・3年目を終えたが、年々対象者が減少している 今後については明峰地域包括支援センターと協議したい	9月～12月
移送	検討	・「日の丸ハイヤー」とのコミュニティタクシーは継続 ・宝塚医療大学送迎バスの利用について大学へ要請してみる ・福祉委員会だけでなく明峰地区全体の課題として提案	30年度の課題
有償ボランティア	検討	・ニーズは今後も増えるのは確実で、必要性があるので他地域の活動を参考にしながら、立ち上げが可能かどうかを検討	30年度は検討期間
障がい者支援	検討	・福祉委員会として何をすべきで、何ができるかを検討する	30年度は検討期間
認知症カフェ	検討	・当事者の交流も必要であるが、介護者同士の情報交換の場としても必要	30年度は検討期間
総会		・全福祉委員を対象とした定期総会	5月
福祉委員理事会（役員会）		・行事予定と報告、事案の審議・決定	毎月第1火曜日
4役会		・理事会での事案の事前検討会	毎月第4水曜日
NPO法人 「成年後見センター・川西」		・会員として啓発活動を行う	毎月第1土曜日
キャラバンメイトとの連携		・認知症サポーター養成講座、認知症SOSネットワーク模擬訓練の共同開催	不定期
青少年育成協議会との連携		・定例会議に出席、主に人的援助を行う	
やまびこ会 （無償ボランティア）		・資金援助	
ひまわり会 （65歳以上1人暮らし会員グループ）		・資金援助	

重点 3

“75歳以上高齢者の集い”を楽しいビックイベントにしよう

目 的

一人でも多くの75歳以上の高齢者の方々に有意義で楽しく参加してもらえる集いの場づくり

具体的取り組み

- 福祉委員会の行事として「ひとり暮らし」と「高齢者の集い」を一つのイベントにする
- 引きこもりの高齢者をなくすために、声掛けをして参加を呼びかける
※参加の呼びかけには安心サポート協力員にお願いする
- 高齢者の人口が増えていくため、参加者年齢を75歳に引き上げる
- 多くの参加者の集う会場の確保が難しい為、複数日の開催を検討する
- 地区推薦の福祉委員と民生委員との連携を強化する

重点 4

活動を支えていただける人材を発掘しよう



目 的

福祉の担い手としての人材発掘

具体的取り組み

- ☞地区福祉委員約80名、安心サポーター約100名（うち重複約40名）の方々がやりがいのある活動となるようにする
 - ・福祉委員会の活動内容を具体的に示し、やりたいこと・できることを選択してもらう
 - ・連絡・情報提供は こまめに！ 丁寧に！
 - ・身近な課題についての講座開催など（社協、地域包括支援センター、他地域事例など）

☞若い世代や団塊の世代の人材発掘

- ・勧誘チラシを作成し、イベント時などで個別にアプローチ

☞人材育成講座などへの出席

明峰小地区 地区別ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

日 程

- ▷ 平成29年 8月29日（火）
- ▷ 平成30年 1月10日・17日・24日・31日
2月 6日・12日
- ▷ 平成30年 3月 1日（木）

内 容

- 地区別ワークショップ 開催
- 地区福祉計画策定検討会議
6回 開催
- 福祉ネットワーク会議 開催

明峰小地区福祉委員会 策定委員会名簿

(順不同)

所属	氏名（敬称略）
明峰小地区福祉委員会	植杉 軍市
明峰小地区福祉委員会	小林 洋子
明峰小地区福祉委員会	美馬 保子
明峰小地区福祉委員会	山下 好美
明峰小地区福祉委員会	喜田 和代
明峰小地区福祉委員会	田村 美征
明峰小地区福祉委員会	筈井 淑子
明峰小地区福祉委員会	金谷 啓子
明峰小地区福祉委員会	小豆澤 薫
明峰小地区福祉委員会	田中 悦子
明峰小地区福祉委員会	美馬 靖雄
明峰小地区福祉委員会	加藤 正代
明峰小地区福祉委員会	森安 多恵子
明峰小地区福祉委員会	内藤 慶子
明峰小地区福祉委員会	齋藤 敬子